



瀬戸内国際芸術祭 2019
香川大学博物館特別講演会

現代アート入門

サイトスペシフィック・アートとは？

秋元雄史 Yuji Akimoto

東京藝術大学大学美術館館長・教授
練馬区立美術館館長
大学博物館等協議会会長・日本博物科学会会長

美術評論家。1955年東京都生まれ。東京藝術大学美術学部絵画科卒業後、1991年よりベネッセアートサイト直島のアートプロジェクトに関わる。2004年より地中美術館館長、ベネッセアートサイト直島・アーティストディレクターを兼務。2007年-2017年金沢21世紀美術館館長。2013年-2015年東京藝術大学客員教授、2015年より東京藝術大学大学美術館館長・教授。2013年-2017年秋田公立美術大学客員教授。2017年より金沢21世紀美術館特任館長。主な著作に「直島誕生」「武器になる知的教養 西洋美術鑑賞」「日本列島『現代アート』を旅する」

90年代初頭、手探りで言う展覧会時代からスタートした直島のアート活動だが、通常の展覧会の形式では、すぐに行き詰まりを見せていった。その突破口として直島の風景や安藤建築と強く関わる現地制作型のアート作品による展覧会を実施した。そしてそれはやがて直島の風土や環境、歴史をテーマにしたサイトスペシフィック・ワークへと発展していく。(秋元談)

香川大学博物館活動紹介 | 2008年4月に四国初の大学博物館として開館した香川大学博物館の活動を会場入口のメインホワイエにおいてパネルで紹介いたします。

瀬戸内国際芸術祭 2019 出展作品紹介 | 特別講演に先立ち、香川大学(創造工学部・柴田悠基研究室)の学生と小豆島の高校生が未来を考えるプロジェクトに取り組み、演出家・豊永純子氏(東京藝術大学非常勤講師)とともに制作した、小豆島の農村歌舞伎舞台とそれらを育んだ風土を軸に史実や人々のエピソードからその土地の未来に向けた物語を紹介いたします。



プレゼンター | 柴田悠基 Yuuki Shibata

香川大学創造工学部講師(造形・メディアデザインコース)
メディアアーティスト。1980年広島県生まれ。2003年九州芸術工科大学卒業。2005年岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー卒業。東京藝術大学大学院美術研究科グローバルアートプラクティス専攻特任助教などを経て、2017年より香川大学講師。主な展覧会として「IN PROGRESS」Zendai Contemporary Art Space(上海ヒマラヤ美術館別館)中華人民共和国上海市など。主な受賞歴として、TERUMO Arts and Crafts Project 現代美術部門など。



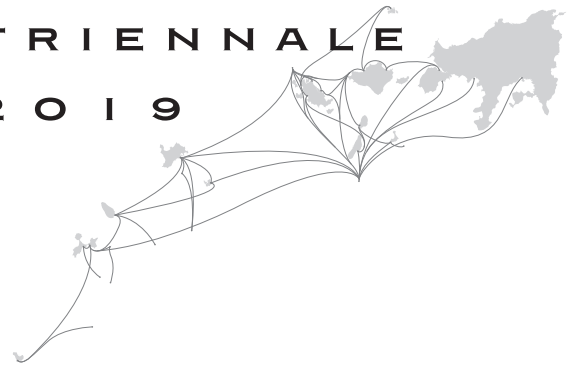
モデレーター | 寺林 優 Masaru Terabayashi

香川大学博物館長・香川大学創造工学部教授(建築・都市環境コース)
地質学者。1963年富山県生まれ。1985年富山大学卒業。1992年東京大学大学院博士課程退学。香川大学教育学部助手などを経て、2011年より香川大学工学部教授、同年より香川大学博物館長。多数の企画展・特別展の開催を手がける。2014-2016年高松市こども未来館の展示設計を監修。主な受賞歴として、日本地質学会論文賞、Wiley社 Island Arc Most Downloaded Awards、日本地質学会 Island Arc 賞、文部科学大臣表彰科学技術賞、環境大臣表彰など。

主催 | 香川大学博物館

後援 | 瀬戸内国際芸術祭実行委員会、
香川県教育委員会、高松市、高松市教育委員会

SETOUCHI
TRIENNALE
2019



2019 5/11 (土)

14:00 開場 15:00 開演 16:30 終了

会場 | サポートホール高松
ホール棟5階 第2小ホール

入場 | 無料

定員 | 300名(要事前申込・先着順)

お申し込み | 香川大学博物館
Facebook

ユーザー以外もアクセス可能



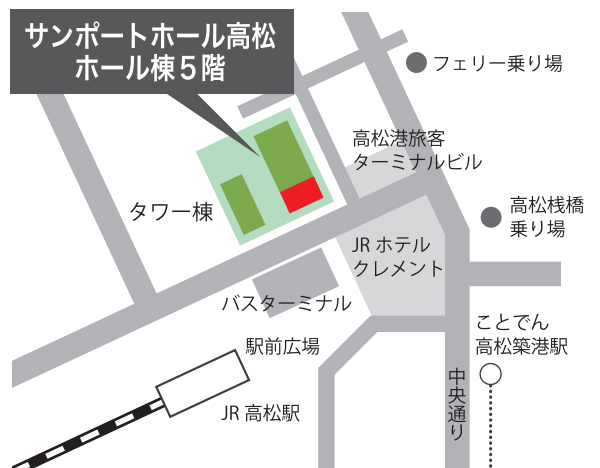
お問い合わせ・Facebook以外でのお申し込み

香川大学博物館 〒760-8521 高松市幸町1-1

電話・FAX: 087-832-1300 / Eメール: museum@ao.kagawa-u.ac.jp

※ 詳しくはホームページをご覧ください

香川大学博物館 検索



香川県高松市サポート2番1号

※ JR高松駅から徒歩3分 ことでん高松築港駅から徒歩5分 高松港から徒歩2分